

未来を生きる子供たち

～大谷翔平選手からのグローブを見つめる子供たちの姿から～

副校長 岸田 和之

アメリカで大活躍している大谷翔平選手。昨シーズンは、ピッチャーとして10勝、167奪三振、バッターとしてホームラン44本、20盗塁と異次元の記録を残し、アメリカンリーグのMVP=最優秀選手を満票で受賞しました。大谷選手の活躍は野球ファンの私のみならず、日本人として嬉しく思われた方も多かったのではないのでしょうか。

大谷選手は、高校生の頃に、「ドラフト1位・体づくり・コントロール・キレ・スピード・変化球」等、野球に関わる具体的な行動目標を立て、実践していたようです。また、野球の要素の他、「愛される人間・計画性・思いやり・感謝・礼儀・信頼される人間・継続力」や、「あいさつ・ゴミ拾い・部屋掃除・道具を大切に使う・審判への態度・プラス思考・応援される人間になる・本を読む」についても行動目標に掲げ、実践していたようです。大谷選手は、野球選手になるために具体的な目標を立て、自ら主体的に実践しながら技能と人格を兼ね備えた「人間力」を高めてきたのだと思います。拍江第一小学校にも大谷選手から3つのグローブが届きましたが、世界で大活躍する大谷選手が自国の全小学校にグローブを贈る行動からも、大谷選手の「人間力」を感じます。



2月17日に学習発表会を予定しています。拍江第一小学校の子供たちは生活科、総合的な学習の時間、生活単元学習で、目標を立て、よりよい解決方法について考え、仲間と協働し、具体的に行動する等しながら、主体的な学習を進めてまいりました。1年間の学習を通して、一小の子供たちにも「人間力」の高まりを感じ、未来を生きる子供たちの姿を想像すると楽しみになります。当日は、子供たちの未来を想像しながら、参観していただくと幸いに存じます。

2月の生活指導

『寒さに負けない体をつくろう』

寒さが一段と厳しさを増し、体を丸め、うつむきながら登校してくる児童を多く見かけるようになりました。寒いときこそ前を向いて、元気なあいさつで一日を始められるよう、声を掛けていきます。また、インフルエンザなど流行する季節です。学校では、手洗い換気の声掛けとともに、元気に外遊びをするように子供たちに指導をしています。御家庭でも声掛けをお願いします。寒い朝は、ついポケットに手を入れてしまいますが、学校では、ポケットから手を出して登下校するよう指導しています。御家庭でも手袋の着用を促すなど防寒対策を工夫して頂けると有難いです。

ふれあい月間

東京都では、毎年、6月、11月、2月をふれあい月間とし、いじめ、不登校、問題行動等の早期発見、早期対応の取り組みを行っています。

本校では、いじめに関する校内研修やいじめ防止教材を活用した授業を実施する予定です。また、児童へのアンケートを行い、実態を捉え、心の変化に気が付けるよう努めていきます。

今年度の登校も40日を切りました。全児童が安心できる学校づくりを進めていきます。